

シークレットマネージャー > インポート&エクスポート

データをインポートする

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/import-secrets-data/>

データをインポートする

別の組織またはシークレット管理ソリューションからの簡単な移行のために、データをシークレットマネージャーにインポートします。シークレットマネージャーは、シークレットとプロジェクトの両方を直接インポートすることをサポートしています。サービスアカウントとアクセストークンはインポートできません。

インポートファイルを条件付けする

シークレットマネージャーは現在、シークレットとプロジェクトを `.json` ファイルとして直接インポートすることをサポートしています。あなたのインポートファイルは、以下のスキーマとルールに従って調整されるべきです：

- たとえ秘密だけをインポートしている場合でも、空の配列を含む **"プロジェクト"** : オブジェクトを含める必要があります。例えば：

Bash

```
{
  "projects": [],
  "secrets": [
    {
      "key": "Secret for Import 1",
      "value": "this-is-my-value",
      "note": "These are some notes.",
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000001",
      "projectIds": []
    },
    {
      "key": "Secret for Import 2",
      "value": "this-is-my-value",
      "note": "These are some notes.",
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000002",
      "projectIds": []
    }
  ]
}
```

- 現時点では、各秘密は単一のプロジェクトにのみ関連付けることができます。
- すべてのオブジェクトは、期待される形式と一致する非空の **"id"** : ""属性を持つ必要があります。最初のオブジェクトには **"00000000-0000-0000-0000-000000000001"** を使用することをお勧めし、その後のオブジェクトごとに増加させてください。インポート時に、各オブジェクトに対して新たにランダムに生成された識別子が生成されます。

Bash

```
{
  "projects": [
    {
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000001",
      "name": "New Project"
    },
    {
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000002",
      "name": "Second New Project"
    }
  ],
  "secrets": [
    {
      "key": "Secret for Import",
      "value": "this-is-my-value",
      "note": "These are some notes.",
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000003",
      "projectIds": []
    },
    {
      "key": "Second Secret for Import 2",
      "value": "this-is-my-value",
      "note": "These are some notes.",
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000004",
      "projectIds": []
    }
  ]
}
```

- あなたは、インポートされた秘密を新しくインポートされたプロジェクトに関連付けるために、**"projectIds": ""**属性を使用することができます。

Bash

```
{
  "projects": [
    {
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000001",
      "name": "New Project"
    }
  ],
  "secrets": [
    {
      "key": "New Secret",
      "value": "this-is-my-value",
      "note": "This secret will go in the new project.",
      "id": "00000000-0000-0000-0000-000000000003",
      "projectIds": [
        "00000000-0000-0000-0000-000000000001"
      ]
    }
  ]
}
```

シークレットマネージャーへのインポート

あなたの `.json` ファイルをシークレットマネージャーにインポートするには：

Note

シークレットマネージャーにインポートするには、あなたのユーザーアカウントが組織内の所有者または管理者でなければなりません。

1. 左側のナビゲーションから **設定** → **データをインポート** を選択してください。

Secrets Manager

- My Organization ^
- My Organization
- Projects 3
- Secrets 5
- Machine accounts 2
- Integrations
- Trash
- Settings ^
- Import data**
- Export data

Import data



File upload

Choose File No file chosen

Accepted Formats: Bitwarden (json)

or

Copy & paste import contents:

[Text area]

Accepted Formats: Bitwarden (json)

Import data

データのインポート

2. **ファイル**を選択し、インポート用の**.json**ファイルを選択するか、または**インポート内容をコピー&ペースト**して入力ボックスに入れてください。
3. **データをインポート**ボタンを選択してください。プロンプトが表示されたら、**マスターパスワード**を入力してください。

⚠ Warning

インポートする際、インポートするファイル内のオブジェクトが既にシークレットマネージャーに存在するかどうかは確認されません。複数のファイルをインポートするか、またはすでにシークレットマネージャーにオブジェクトがあるファイルをインポートすると、**これにより重複が作成されます。**